

13. 化繊織物の日光及び紫外線による脆化について

(第3報)

三重大学芸 薄田 京子

1. 化繊織物の日光並びに雨露に対する抵抗性を知るために Bemberg (樹脂加工) Vinylon, Tetoron, Viscose rayon (樹脂加工) の四試料について昭和34年8月1日より向う180日間の曝露試験を行った。今回は曝露試料の防皺度, 柔軟性, 色相の変化等の測定結果を報告する。

2. 防皺度の測定は試片を二つに折りまげ一定荷重を加えて除重後の開角度 θ を経緯双方について測定し, 開角率 $\theta/180 \times 100$ を求めた。

色相の変化はハンター光電三刺激測色計によって表面反射率を測定した。

3. (1)防皺度 日光, 日光及び雨露双方の場合とも防皺度は除々に低下する。四試料中 Viscose rayon 及び Bemberg は共に防皺度の低下が著しい。雨露によってこの傾向は一層促進されることが明かにされた。この経過は Bemberg に特に顕著である。Vinylon 及び Tetoron は共に防皺度の低下が少い。前記二試料とは逆に雨露によって防皺度の低下が防止せられることが認められた。

(2)柔軟性 Vinylon は日光, 日光及び雨露双方の場合とも試料は著しく硬化した。他の三試料については曝露による影響は殆どみとめられなかった。

(3)色相の変化 日光曝露による黄化はその著しいものより Vinylon, Viscose rayon, Tetoron, Bemberg の順位である。